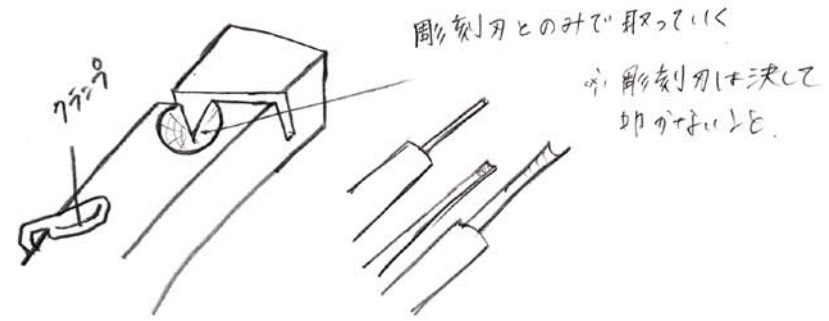




・際鉋

081030



彫刻刀とのみで取っていく

彫刻刀は決して
叩かないと。

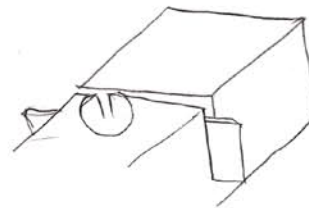
● ほしいところ取れたら、小刀を使って
なめらかにしていく



さの目があるので
小刀は2種類
使う。



● 1度、刃を入れて、どしどしが当たるか
石重さ思えばかり、スクレイパーで
調整していく



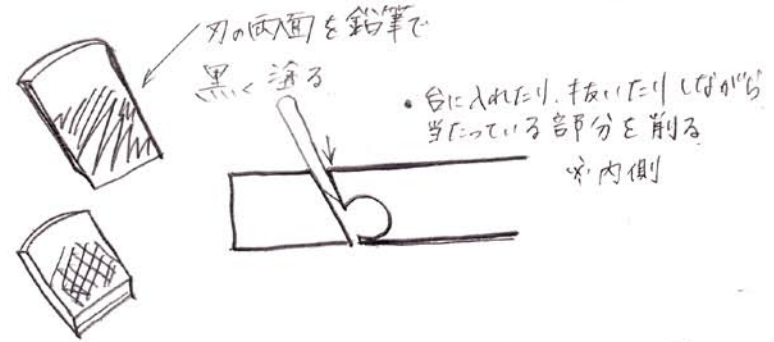
3





・際鉋

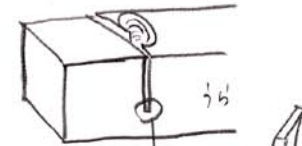
1081030



・刃を抜く時、左右に刃を振ると、刃がどこに当たっているかわかる



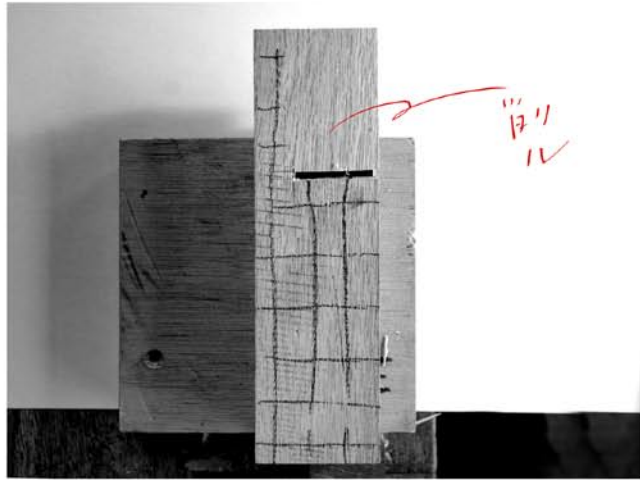
・刃口をつくる



ニも細いノミで削り、整える。

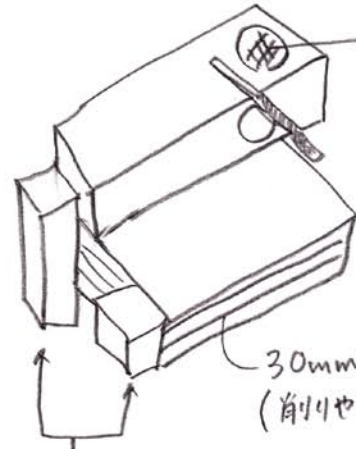


4



際鉋

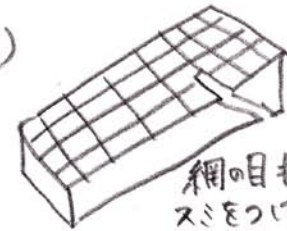
081030



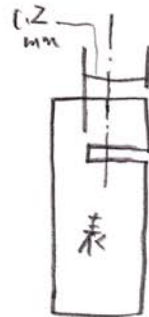
この凹が刃に押し当てて
でらばっているのを
平鉋で削り取る。



当台のおさえ



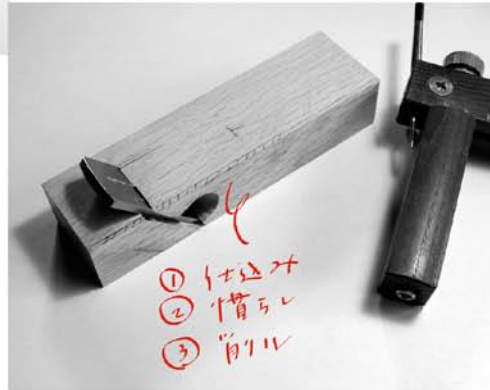
網目状に
スミをつける
削れたところを
めがさすように



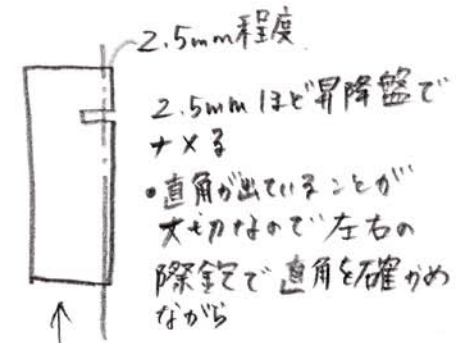
表の刃の溝に対して
うらの方は短い(裏は
刃中程で表は1.2mm
広い
刃の頭を振れるように



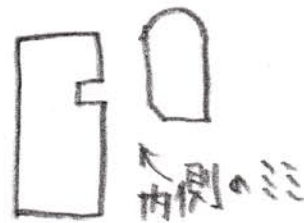
スミつけると
めがさりやすい

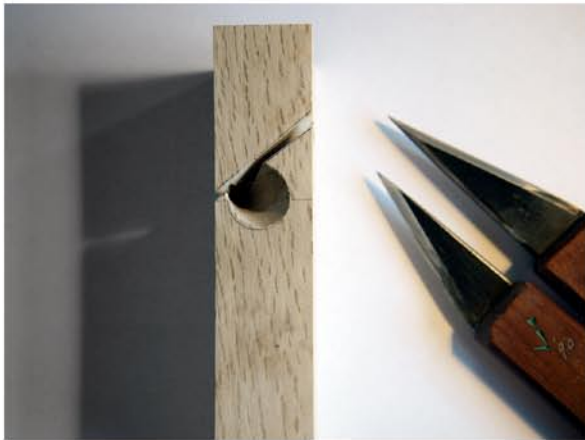


際鉋



刃がしっかりと入るように
あらかじめ溝を深くする。
(+する分)





際鉋

081030

最終仕上げ

小刀で滑らかに仕上げる。



刃口をスクレパ-で削る。仕上げにはたき刃を出し入れしながら様子を見る。



刃口は90°近くはるか
これも刃の出かたを見ながら



刃口を削っていく。